TAKAOKA
高岡商工会議所会報

たかおか

2021
June
NO.758
6

［特 集］
SDGsを知ろう

伏木曳山祭

SDGsを知ろう

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2016 ~ 2030年
- 17のゴール・169のターゲット
- すべての国の目標
- 全国連加盟国で交渉

持続可能な開発目標（SDGs）とは

ここ数年の間によく聞くようになったSDGsという言葉がありますが、これはSustainable Development Goals の略で、「持続可能な開発目標」という意味です。近年、グローバリゼーションが大きく進展してきた一方、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により様々なリスクが顕在化しました。今後、こうしたリスクに対応し、強靭な経済社会システムを実現していくに当たっては「持続可能性」が鍵となります。この「持続可能な開発目標」とは、2015年９月に国連で採択された2030年までの国際開発目標になります。17のゴールと169のターゲット達成により、「誰一人取り残さない」社会の実現に向け、発展途上国及び先進国で取り組むものです。

SDGsの構造

17のゴールは、①貧困や飢餓、教育など未だに解決を見ない社会面の開発アジェンダ、②エネルギーや資源の有効活用、働き方の改善、不平等の解消などすべての国が持続可能な形で経済成長を目指す経済アジェンダ、そして③地球環境や気候変動など地球規模で取り組むべき環境アジェンダといった世界が直面する課題を網羅的に示しています。SDGsは、これら社会、経済、環境の３側面から捉えることのできる17のゴールを、統合的に解決しながら持続可能なよりよい未来を築くことを目標としています。

SDGsの特徴

SDGsは先進国も含め、全ての国が取り組むべき普遍的な目標となっています。これらの目標は各国政府による取組だけでは達成が困難であり、企業や地方自治体、市民社会、そして一人ひとりに至るまで、すべてのひとの行動が求められているのが大きな特徴です。
まさにSDGs達成のカギは、一人ひとりの行動に委ねられているのです。

人間の安全保障と関連性

我が国は脆弱な立場にある一人ひとりに焦点を当てる「人間の安全保障」の考え方を国際社会で長年主導してきました。「誰一人取り残さない」というSDGsの理念は、こうした考え方とも一致します。

SDGs17のゴール

目標１【貧困】

あらゆる場所からあらゆる形態の貧困を終わらせる

目標２【飢餓】

飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する

目標３【保健】

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

目標４【教育】

すべての人に包括的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する

目標５【ジェンダー】

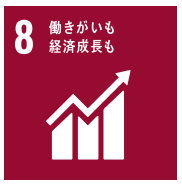
ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う

目標６【水・衛生】

すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する

目標７【エネルギー】

すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する



目標８【経済成長と雇用】

包括的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を

目標９【インフラ、産業化、イノベーション】

強靭なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの促進を図る

目標 10【不平等】

国内および各国家間の不平等を是正する

目標 11【持続可能な都市】

包摂的で安全かつ強靭で持続可能な都市及び人間居住を実現する

目標 12【持続可能な消費と生産】

持続可能な消費生産形態を確保する

目標 13【気候変動】

気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる

目標 14【海洋資源】

持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する

目標 15【陸上資源】

陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する

目標 16【平和】

持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する

目標 17【実施手段】

持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

SDGsカラーホイールは17のゴールのカラーが施されたアイコンです

日本政府の取り組み

我が国としては、日本の「SDGsのモデル」の確立に向けた取り組みの柱として、8分野の優先課題をあげており、SDGsの17のゴールと169のターゲットのうち、日本として特に注力すべきものとして示しています。また本優先課題に基づく具体的な政策として、「SDGsアクションプラン2021」をとりまとめています。

《優先課題８分野》

①あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等の実現（目標：1，4，5，8，10，12）
②健康長寿の達成（目標：2，3）
③成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション（目標：2，8，9，11）
④持続可能で強靭な国土と質の高いインフラの整備（目標：2，6，9，11）
⑤省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会(も起票：7，12，13)
⑥生物多様性、森林、海洋等の環境の保全（目標：2，3，14，15）
⑦平和と安全・安全社会の実現（目標：5，16）
⑧SDGs実施推進の体制と手段（目標：17）

SDGsアクションプラン2021

～コロナ禍からの「よりよい復興」と新たな時代への社会変革～

2019年９月に行われた国連SDGs サミットで、2030年までをSDGs達成に向けた取組を拡大･加速するための「行動の10年」と定められました。その後発生した新型コロナウイルス感染症の拡大は、世界の人々の命・生活・尊厳といった人間の安全保障に対する脅威となっており、SDGs達成に向けた取り組みの遅れが深刻に懸念されています。コロナ禍に打ち勝つだけでなく、よりよい復興に向けて取り組む必要があり、国際社会の連携が不可欠です。

○重点事項

Ⅰ. 感染症対策と次なる危機への備え
Ⅱ. よりよい復興に向けたビジネスとイノベーションを通じた成長戦略
Ⅲ. SDGsを原動力とした地方創生、経済と環境の好循環の創出
Ⅳ. 一人ひとりの可能性の発揮と絆の強化を通じた行動の加速

SDGs達成に向けて

新型コロナウイルス感染症が瞬く間に地球規模で拡大したことからも明らかなように、グローバル化が進んだ現代においては、国境を越えて影響を及ぼす課題に、より一層、国際社会が団結して取り組む必要があります。一人ひとりにできることを考え、一歩踏み出す姿勢が求められています。高岡市内においてもSDGsに取り組む事業所が増えてきており、高岡商工会議所もSDGs推進のための計画を策定しています。何事も一度に全てを達成することはできませんが、みなさまの事業所におかれましてもまずはできるところから取り組んでみてはいかがでしょうか。

参考：経済産業省、外務省HP

PHOTO LIBRARY

Pickup!

高岡伝統産業青年会が鋳物体験を開催

イオンモール高岡で伝統産業をPR

高岡の伝統産業に関わる40歳以下の職人等38名が所属する高岡伝統産業青年会(羽田純会長)は、イオンモール高岡東館1階セントラルコートで錫鋳物を制作体験するワークショップを開催した。親子連れを中心に計25名が参加し、会員の指導を受けながら、キャラクター小物やぐいのみを制作した。なお、飛沫防止シートやアルコール消毒液、ビニール手袋等を準備し、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で行った。

商工会議所検定試験 1級合格証書授与式を実施

日商簿記検定試験1級合格者を表彰

日本商工会議所が主催する簿記検定試験1級合格者への合格証書授与式を高岡商工ビルで行い、合格者が塩谷雄一会頭から証書と記念品を受け取った。授与式では塩谷会頭が「今後も勉強を続け、ステップアップしていってほしい」と合格者を激励した。第157回の1級試験には全国で6,351人が受験し、502名が合格した。

●第157回日商簿記検定試験1級合格者

大浦　有稀 さん（高岡商業高校3年生）

林　　玲菜 さん（高岡商業高校3年生）

高岡eスポーツカップ 実行委員会を開催

事業報告・事業計画などを承認

御旅屋セリオ6階に開設しているeスポーツ拠点施設「Takaoka ePark」にて実行委員会が開催された。菅野克志実行委員長の開会挨拶の後、令和2年度事業報告・令和3年度事業計画(案)について協議され、議案が承認された。事業計画の中には前年度に引き続き、eスポーツカップメイン大会と企業交流大会の開催が盛り込まれた。

新型コロナウイルス感染症対応のための窓口相談を実施

中小企業診断士による個別相談会を開催

高岡商工会議所中小企業相談所では、原則毎週金曜日午後１時～４時に中小企業診断士による窓口相談を行っており、５月は14日、21日、28日の3日間開催した。本相談会では補助金申請のための経営計画策定や経営課題に対して専門家から助言・支援を無料で受けることができ、随時相談の予約を受け付けている。

まちゼミセミナーを開催

また来たいと思われるお店になる秘訣を学ぶ

高岡得するまちのゼミナール事業の一環として、「まちゼミに学ぶ！お店のファンづくりの秘訣」と題したセミナーをオンラインで開催し、16名が参加した。講師に「まちゼミ」の仕掛人である岡崎まちゼミの会 代表 松井洋一郎氏を迎え、また来たいと思われるお店づくりやまちゼミを開催する上でのポイントについてお話しいただいた。今年の高岡まちゼミは全国一斉まちゼミの実施に合わせ、９月開催を予定している。

第17回 新幹線まちづくり推進高岡市民会議を開催

新高岡駅利用促進の事業方針を協議

高岡商工ビル２階にて新幹線まちづくり推進高岡市民会議が開催され、塩谷雄一会長の挨拶の後、令和２年度の主な事業実績･取組･調査結果の報告が行われた。続いて令和３年度の事業方針として、「ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた緊急対策」、「敦賀開業に向けた誘客力の向上」が示された。新高岡駅を起点とした飛越能周遊の観光需要の回復と、新たな来訪機会の創出を目指すことについて協議され、承認された。

高岡市商店街連盟総会を開催

役員改選で酒井会長が再任、副会長は５人体制となる

高岡市内の17商店街と特別会員で構成される高岡市商店街連盟の第47回通常総会がホテルニューオータニ高岡で開催され、すべての議案が承認された。今年度事業として新型コロナの影響で停滞している経済の活性化、消費の循環を目的とした大抽選会や、「まちゼミ」の開催を予定する。また役員改選もあり、酒井敏行会長（坂下町商店街）が再任した他、新たに下村一郎氏（桐木町商店街（振））、長森尚幸氏（戸出町商店街連盟）が副会長として就任した。任期は２年。

PHOTO LIBRARY